

発行日 平成 26年 11月 第 81号

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

昨年より、小児科病棟の共同利用が始まり、稼働率・登録医の来院回数が増え、病床の回転が速くなりました。

こうした運用実績は、共同利用施設運営委員会で報告され、運用上の課題について、検討されています。

今回は、その一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

共同利用施設運営委員会の報告

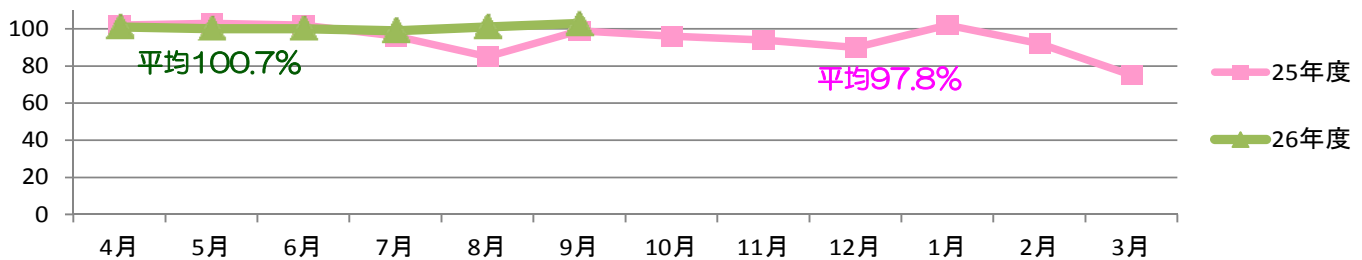
日 時：平成26年10月31日（金）18時30分～

場 所：横手シャイニーパレス 5F

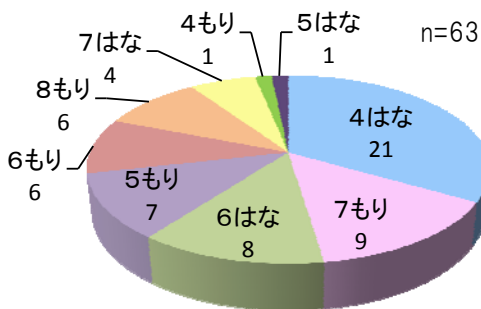
参 加 者：横手医師会長・副会長・横手医師会運営委員3名、横手市健康福祉部長、平鹿総合病院関係者 11名 計 17 名

協議事項：1. 共同利用病床運用状況について
2. その他

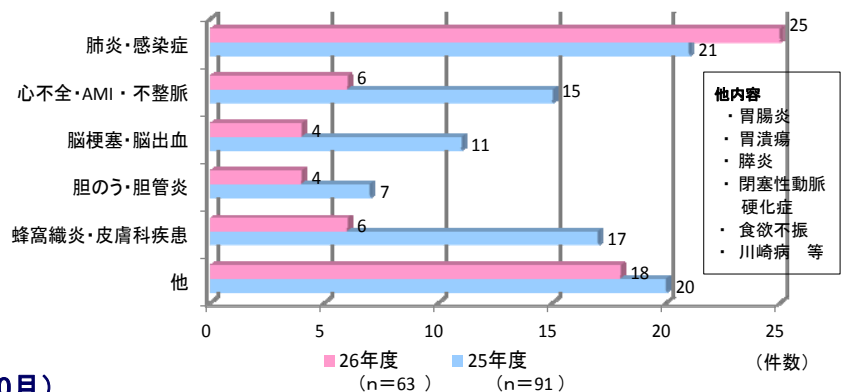
1. オープンベッドの稼働率の推移



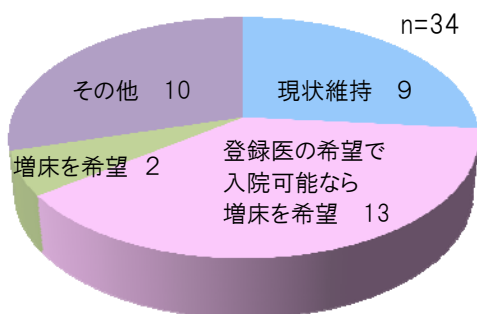
2. 申し込み回数(病棟別)…平成26年度



3. 申し込み回数(疾患別)…平成26年度



4. 登録医に対するアンケート結果(平成26年10月) 「オープンベッドの増床の可否について」



在宅医療の推進に伴い、医療の機能分化と連携の強化がますます重要となっています。これを受けて今回の協議では、登録医の希望もあり、平成27年4月を目処に開放病床を増床する方針となりました。

地域のニーズと当院の診療体制をふまえ、より円滑に開放病床を運用できるよう、医事企画課や病棟と増床の検討を重ねていきたいと思ひます。